

えがお ふれあい たかめあい きらい かがやく あざ二っ子

横浜市立あざみ野第二小学校
学校だより 9月号

令和8年8月27日発行

学校だよりはホームページにも掲載されています。
学校日記も更新中です。ぜひご覧ください。

青葉区あざみ野三丁目29番地3
TEL 045-902-4866



人間らしさを大切に ～AI時代に突入の今、教育の役割は～

校長 大幸 麻理

長い夏休みが終わり、子どもたちが元気に学校に戻ってきました。そう、私たち学校教職員は、まさに「戻ってきた」という感覚です。夏休み中、ひっそりと静かだった教室も、今日からまた子どもたちの元気な声であふれ、活気に満ちた空間になりました。

さて、昨今のDXの急速な進歩に伴い、教育の世界にもAIが導入され、その活用について様々な場面で語られることが増えてきました。子どもたちの学習場面でも、AIを効果的に使ってデータを処理し思考につなげていくなどの実践が数多く報告されています。確かにこれまで時間がかかったデータの集計や整理などをAIが瞬時にやってくれるということは革新的であります。ですが、一方で、一つひとつ時間をかけてまとめたり整理したり分類したりする営みを通して気付くことや感じることもあります。それが一瞬でできてしまうのであれば、では生み出された時間を何に使うべきでしょうか。そして、人間にしかできないこととはどんなことでしょうか。

先日、複数の大学の先生による「学生がAIで作成したレポートは読めばすぐ分かる」という話を読みました。端正にまとまった文章ではあるが、本当に自身が脳を働かせて思考したかどうかということは、そこになにか「その人らしさ」がにじみ出てくるのではないかと思います。私たちは教育の現場で、AIともうまく付き合いながら、「自分らしく思考すること」の大切さを教えていきたいと思います。

「少しのゆとり」と「物を大切にする心」～7月のスマイルタイムから～

児童支援専任 佐藤 牧子

7月のスマイルタイムでは、「登校時刻」と「落とし物」について子どもたちに話をしました。

登校時刻については、8時15分のチャイムまでに校門を通り、8時20分には朝の会が始められるよう、教室での準備を済ませて席に着いてほしいことを伝えました。翌日から校門に立っていると、8時10分頃に登校してくる子どもたちが増えたように感じました。話を素直に受け止め、行動に移そうとする姿を嬉しく思いました。早すぎても遅すぎてもよいわけではありません。慌てたり焦ったりすることなく準備をし、友達とあいさつを交わしたり、少し会話を楽しんだりする。そんな心のゆとりをもって一日をスタートできることは、子どもたちの学校生活にとって大切なことだと感じています。

また、落とし物についても話をしました。学校の落とし物置き場には、名前のない多くの落とし物が集まっています。すると話の後、「あの服は僕のかもしれません」と声をかけてくれた子や、「落とし物置き場はどこですか」と尋ねてくれた子がいました。物に目を向け、大切にしようとする気持ちが伝わってきました。

子どもたちには、時間を大切にすることも、物を大切にすることも、自分や周りの人を大切にすることにつながるのだと感じながら成長してほしいと願っています。ご家庭でも話題にして頂けたら幸いです。